

関東甲信越地区同窓会の皆さんとの集い

神奈川県同窓会会長 佐乗慎二

同窓会連合会の第4回関東甲信越地区交流会を2016年11月19日と20日に神奈川で実施しました。連合会の地区交流会は毎年全国6か所で開催されており、神奈川は今回初めての開催でした。全国各地の同窓会から24人、本部から來生副学長、神奈川学習センターから池田所長、藤田事務長他2名、神奈川同窓会から27人と総勢55人の方に参加して頂きました。



19日は交流会に先立ち神奈川同窓会恒例の学歌を斉唱した後、池田センター長による「ミナトマチ横浜の魅力と放送大学」の表題での講演をして頂きました。開港150年超を迎えた横浜港の歴史と発展の様子や今後の計画についてパワーポイントを使って分かり易く解説して頂き、また放送大学で行われている横浜港や神奈川の産業や生物、歴史や文学、美術など多彩な放送授業や面接授業の紹介があり、皆さん大変興味深く聞き入っておられました。引き続き各同窓会から学園祭の取り組みについて予め用意した報告シートに基づき発表して頂きました。各学習センターでは何らかの形で学園祭を開催していますが、同窓会が主導するところや、学習センターや学友会が主催し同窓会が参加するところなど、置かれている状況によって形は様々です。予算やイベント内容、参加者の不足やリーダー役の不在などの課題について意見交換をしました。神奈川からは「フェスタ・ヨコハマ」の状況と、一昨年から開始したホームカミングデーについて発表しました。30年の歴史をもつ「フェスタ・ヨコハマ」については皆さん大変参考になったようでした。最後に來生副学長から講評を頂きましたが、放送大学における同窓会の活動ぶりを高く評価するとともに、大学本部としてできる限りのサポートをしたいとお話がありました。夜はみなとみらい地区にある「ナビオス横浜」で懇親会を開催し、各同窓会での活動と課題などについて引き続き議論しました。

翌 20 日は山下公園からマリンシャトルに乗船し、港湾施設の見学をしました。前日の池田センター長による講演会で、横浜港の歴史と現状についてお聞きしていましたので、船上からミナトマチ横浜の魅力を実感することができて大変有意義な見学会になりました。



神奈川同窓会の役員・准役員の方々が企画から運営まで一致協力し取り組み、また池田センター長以下学習センターにご支援いただいたおかげで滞りなく終了し、参加された皆さんから「さすがに神奈川！」と感謝の言葉が数多く寄せられました。我々の活動が全国の同窓会の参考になったようであれば嬉しいことですが、一方で他の同窓会の活動で参考になる面も知ることができました。その意味で今回交流会を主催して得るところが多かったと思います。この経験を活かして会員の皆様に益々喜んで頂けるよう活動の幅の拡大と質の充実を推進していきたいと考えていますので、ご協力、ご支援を宜しく申し上げます。